

# 子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2017年11月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081  
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもちました方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



だいぶ寒くなってまいりました。

今年も残すところ一ヶ月。

“終わりよければ”ですので、悔いを残さない1年としたいものです。

今月号では、東北の植樹フィールド情報をお届けします。

## (目次)

1. 「東北復興グリーンウェイブ」 東北の“どんぐり”を拾う活動2017レポート
2. 「東北復興グリーンウェイブ」 植樹フィールド情報
3. 事務局からのお知らせ
  - 新・どんぐり博士の育苗講座 (2017年11月号)

### ■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

### ■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運営：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛：日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

NPO法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人自然体験活動推進協議会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



## 1. 「東北復興グリーンウェイブ」 東北の“どんぐり”を拾う活動2017レポート

今年も「東北復興グリーンウェイブ」における東北の“どんぐり”を拾う活動が行われました。今年から参加してくれた盛岡市の桜保育園を含め、岩手県で七つの保育園、こども園、合計126名の園児が参加してくれました。毎年参加してくれている宮城県の「バンビの森保育園」の子どもたちも“どんぐり”拾いの活動に参加してくれたのですが、今年の不順な天候の事情で“どんぐり”が不作のため拾えず、今年は岩手県のみ“どんぐり”となりました。簡単ですが、それぞれの園の活動風景をご紹介します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

(＊以下、①採取日 ②採取場所 ③参加園、あるいは園児数)

### ○岩手県奥州市 認定こども園「駒形こどもの杜」

①2018年9月27日(水) ②「見分森公園」 ③年長児 (46名)

『駆け抜ける心地良い秋の風の中、秋の遠足で見分森公園まで4.4km、歩き切った子どもたちに拍手です。どんぐりもたくさん拾って帰ってきてくれました。岩手のどんぐりを南のお友達に育ててもらって、大きく育ったら岩手沿岸部に植樹する、という素敵なたながりの事業です。遠足でたくさん拾ったどんぐりを託します。宜しくお願いします(^^) 』(山下園長先生)



### ○岩手県山田町保育園合同活動

①2017年10月13日(金) ②豊間根保育園前 ③山田町第一保育所、織笠保育園、豊間根保育園、船越保育園 (合計51名)

前日までの雨で水たまりもたくさんありましたが、園児たちが元気に楽しく拾ってくれました。また、今年のどんぐりは豊作で時期も最適だったようで、水による仕分けを行っても浮くどんぐりはほんの少しで、新鮮でしっかり実が詰まったどんぐりでした。(事務局)



### ○岩手県宮古市「赤前保育園」

①2017年10月13日(金) ②園庭、及び園所有の山  
③年長児11名

園長先生の先導でお山に入ります。まず、細い山道に入る手前の広場で最初の“どんぐり”拾いです。今年はこちらも豊作の予感。さらに、頂上でも大きなどんぐり(ミズナラ)を拾うために、次にお山の頂上に向かいます。頂上では、子ども達の大きな“おめめ”と同じくらい大きなどんぐりがいっぱいでした。(事務局河内)



### ○岩手県盛岡市「桜保育園」

①2017年10月19日(木) ②観自在王院跡史跡公園  
③5歳児18名

『電車に乗って一ノ関駅から平泉駅まで行き、「観自在王院跡」の見学をして来ました。平泉駅から徒歩で向っている途中で、元保育士の方に遭遇し、どんぐり拾いができる事を教えて頂いたので現地に到着して、最初に“どんぐり”拾いをしてから鬼ごっこをしました。』(園レポート)



## 2. 「東北復興グリーンウェイブ」 植樹フィールド情報

「東北復興グリーンウェイブ」の活動で、全国の保育園、幼稚園、こども園から届けられる東北の“どんぐり”の苗木は、植樹フィールドのある岩手県山田町の保育園の子どもたち、お父さん、お母さん、さらに地域の人たちによって大切に育てていただいています。そんな植樹フィールドの近況やエピソードをご紹介します。植樹フィールドは、今後、山田町からお隣の宮古市、さらに福島県にも広がる予定です。

フィールド名（所在地）	復興支援活動	近況
<p>○苗畑（岩手県山田町豊間根）</p> 	<p>全国から届けられた東北の“どんぐり”の苗木は、この苗畑でもう少し大きくなるまで育てられ、その後復興に役立つフィールドに植え替えられます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2017年夏、豊間根保育園の保護者のみなさん、男性保育士の「男心会」のみなさんで草刈りを行いました。とってもきれいになりました！</li> <li>●2018年1月20日に、鹿の食害から苗木を守るためのフェンスづくりを実施します。</li> </ul>
<p>○しいたけの森 （岩手県山田町豊間根）</p> 	<p>山田町のしいたけづくり名人芳賀榮三さんの森。植えられた苗木は、復興産業である“しいたけ”の「ほだ木」として活用されます。</p>  <p>芳賀榮三さん</p>	<p>2017年夏、芳賀さん、豊間根保育園の保護者、「男心会」のみなさんで草刈を行いました。</p> 
<p>○カキの森（岩手県山田町船越）</p> 	<p>川のほとりにあるフィールド。広葉樹の“どんぐり”の森を育てることで、森の栄養が川を經由して海に届けられ、復興産業である“カキ”の養殖に寄与することをミッションとします。</p>	<p>2017年秋、植樹フィールドを広げるための拡張工事を実施しました。</p> 
<p>○記念植樹「新生やまだ商店街」 （岩手県山田町中央町）</p> 	<p>山田町の復興の象徴として開設された「新生やまだ商店街」において毎年、数本の苗木が活動のシンボルツリーとして記念植樹されます。山田町と全国の子どもたちが取り組む復興支援の活動が地域の人たちにお披露目されます。</p>	<p>2017年10月の風景です。大きいもので、1m超まで育っています。</p> 

### 3. 事務局からのお知らせ

#### 1) 「エコプロ2017」 出展のご案内

・ J P 子どもの森づくり運動では、今年も、12月7日(木)、8日(金)、9日(土)の三日間「東京ビッグサイト」で開催される国内最大の環境展示会「エコプロ2017」に出展します。NPOブースでは、プレ10周年企画として、2017年を含む10年間の活動をパネルや動画によってご紹介します。

・ 最終日9日(土)の11時30分から、イベントステージで活動発表も行います。今年は「東北復興グリーンウェイブ」の福島県での活動として、伊達市のこども園さんの樹木の再生活動をご紹介します。その活動に参加している南会津の「田島保育園」の卒園児によって結成された和太鼓パフォーマンス集団「龍巳会」の演奏もお披露目してもらいます。「どんぐり〜ず」も参加して、♪どんぐりえがおのダンス大会も開催します。入場は無料ですので、是非ご来場下さい。詳しくはホームページを参照下さい。



「龍巳会」演奏風景



どんぐり〜ず

#### 2) 「全国集会&研修会2018」のご案内

年に一度、全国の参加園が集い、情報交換と交流、そしてこれからのより良き活動を協議する「全国集会&研修会2018」が下記の日程で開催されます。今年は10周年記念大会として北九州での開催となります。記念大会として出来るだけ多くの方々にお集まりいただければと思っています。早めの日程調整をお願い申し上げます。詳細は、子森通信12月号、及びホームページにてご案内します。

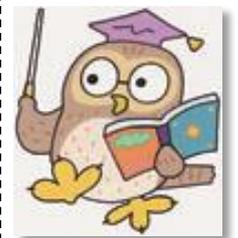
#### 『 J P 子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2017」北九州大会』開催概要

・ 日時：2018年2月15日(木)、16日(金) ・ 会場：「ホテルニュータガワKOKURA」(福岡県北九州市小倉)

#### ● 新・どんぐり博士の育苗講座(2017年11月号) ~ポット苗に育てましょう~

いつ頃からでしょう、園芸や菜園で植物を育てる場合に、種をまくのではなく、苗を植え付けるのが主流になったのは？ そして、苗植えを身近にしたのがポット苗です。今回は森づくりのスタートとなるポット苗についてです。

子森ネット「どんぐり博士」：河内和男(森林インストラクター)



ポット苗とは、黒くて薄いポリエチレン製のポリポットで育てられた苗です。お花や野菜では、10cm以下の小さなポリポットに植え付けられていますね。苗がポット苗の理由は、流通と販売過程での運搬と管理のためです。林業や農業のプロの仕事では、苗床や苗畑から苗を抜いて短時間で植え付けるので、ポット苗にする必要はありません。かえって体積をとり作業効率が悪くなります。流通時以外にも利点があります。植え付け時に根を傷つせず、また植え付け穴をポットの大きさに合わせて掘るだけで、簡単に植えられる点です。ただ、根がまとまりすぎているので、根を少々ほぐして植え付けた方が根張りは良くなると言われています。

毎年5月には岩手県山田町に、東北復興グリーンウェイブ用の苗が、全国各地から大きく育ててポット苗で沢山届きます。地元の園児たちと手分けしても結構な作業量になるので、細かな作業まで気がまわせません。それでもポット苗の扱いやすさのおかげもあって、しっかり根付いて生長し、新たな森を形成し始めています。

さて、苗木は葉を落とし冬の休眠に入りました。植えかえに適した時期です。(3月まで)プランター等で育てていてまだポットに植えかえていない苗や、ポットが小さすぎる苗は、適切な大きさのポットへの植えかえをお願いします。大きさは13.5cm~15cmをおすすめします。そして、できれば、薄くペラペラなものを使用ください。ネット通販でポリポットと検索すれば見つかります。ポット苗の最大の欠点は、植え付け後ポットがゴミになる点です。ゴミの減量化にもご協力をお願いします。